

沼津市青少年教育センター

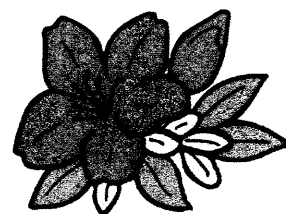
# たより

平成27年4月号 No. 511

〒410-0881 沼津市八幡町97番地 ☎(055)951-3440 FAX(055)952-3300

## 人間距離

教育長 工藤 達朗



最近の青少年の気質として、一般的に好ましい点としては、「性格は素直で、非行問題も減少傾向にあり、学校も相対的に落ち着いている」、「情報化社会に直ぐ対応し、幅広い知識を持っている」、「体格もよく、服装等も清潔である」、「挨拶などの基本的生活習慣が、比較的身に付いており、目に見えるような悪さをしない」、「多分野において個性を発揮して活躍している」、「女性が幅広い分野で活躍している」等が挙げられている反面、課題も指摘されています。

特に心配されることとして「コミュニケーション能力の不足」が挙げられます。「自分が話した言葉が、相手をどの様に傷つけるか考えられず(あるいは考えず)、イジメに繋がる」、「自分の言動が、どのような結果をもたらすか予測せず(あるいは予測できず)、刹那的な言動を取ってしまう」、「人と人との関わり合いをメールやスマホに頼りがちである」等により、人間関係作りが苦手となっている様な気がします。

また、少子化が進む中で、異年齢による能動的な体験が不足しており、テレビやゲーム等の受動的活動が多いためか、不都合なことがあると、第三者に相談することができず、悩んでしまう。更に、経済的に比較的恵まれ、物質的に豊かであるためか、日常生活の中で不便があると、創意工夫もせず、直ぐ物を買ってしまう。

学校では、これらの課題を解決するために体験活動を通して、人間関係作りや粘り強く耐える力、創意工夫をし、課題を解決する力を身に付けさせる等の、様々な取り組みをしていますが、十分な時間がとれないジレンマを抱えています。

そのため、地域や家庭との連携を密にして、それぞれの役割の中で、知育、徳育、体育を身に付ける機会を増やす必要があると思っています。

青少年を取り巻く生活環境は、身近なところに店舗があり物が溢れ、交通や通信手段が一層便利になってきます。「便利になればなる程、人間関係は希薄になり、不便になる程、人と人との距離は近づいてくる」ような気がしてなりません。今更引き返すことの出来ない時代、どのような人間距離を取ったらよいのか、難しい問題です。

# 平成 27年度青少年教育センターの活動

沼津市青少年教育センターは、平成27年度も引き続き、青少年健全育成のための次のような活動を実施していきますのでよろしくお願いいたします。

## 1 方針

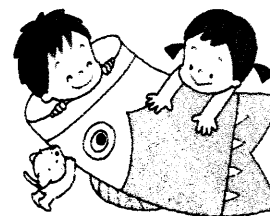
青少年をめぐる諸問題に対処するため、家庭をはじめとして地域・学校・警察他関係機関との連携の下に、補導・教育相談・研修活動を通じて、青少年の健全育成に努めます。

## 2 活動内容

### (1) 補導

#### 補導活動

青少年非行に対処するため、中央補導と地区補導活動の充実を図るとともに、夏まつり・県内一斉等の特別補導を行い、また商業店舗補導連絡会を開催するなど青少年非行の未然防止に努めます。



#### 環境浄化活動

高校生参加による落書き消しを行い、意識啓発を強化するとともに、「青少年を取り巻く社会環境の実態調査」を行い、地域ぐるみの有害環境浄化活動を推進します。

#### 広報・啓発活動

青少年教育センター「たより」と年報である「ねんりん」を編集・発行するとともに、「青少年の非行・被害防止街頭キャンペーン」を実施します。

### (2) 教育相談

#### 面接相談

不登校・発達などに関する相談全般について、面接による相談に応じます。

#### 電話相談（やまびこ電話）

青少年に関する相談全般について、電話による相談に応じます。

#### 体験活動「はばたき」

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒のための体験活動を実施します。

#### 相談指導学級

青少年教育センターに通所する不登校児童生徒の内、沼津市教育委員会が認めた児童生徒が通級します。

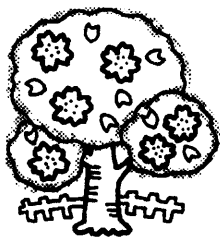
#### 青少年健全育成地域相談員

各地域にいる相談員が、地域の青少年健全育成活動への援助と相談を行います。

### (3) 研修

教職員研修センターが主催する「若手教員研修」のうちの相談指導学級における体験研修を実施します。

# 面接相談



◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など  
青少年に関する面接相談。

◎相談および申し込み受け付け時間：

午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）

◎相談申し込み：TEL 951-3440

## 平成27年1月・2月・3月の状況

1・2・3月には新たに申込みがあった13件（1月3件、2月5件、3月5件）を含め、53件（延べ相談回数332回）の相談に応じました。

### 1. 相談内容別新規相談件数

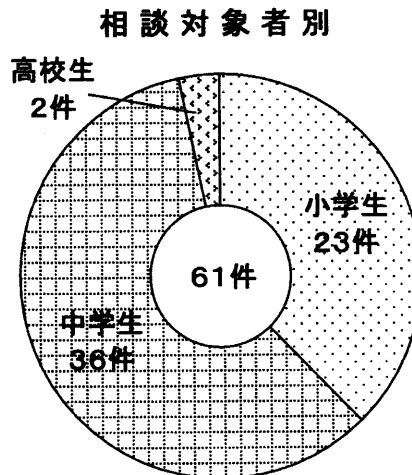
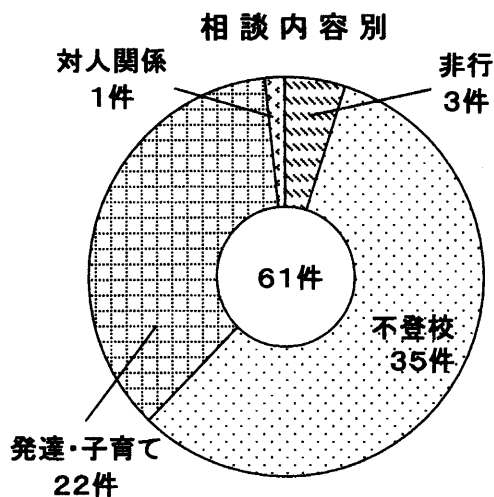
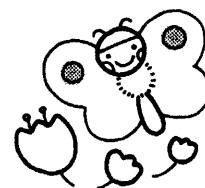
	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
1月	0	3	0	0	0	0	3
2月	0	4	1	0	0	0	5
3月	0	4	1	0	0	0	5

### 2. 相談対象者別

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
1月	0	2	1	0	0	0	3
2月	0	3	2	0	0	0	5
3月	0	2	3	0	0	0	5

### 3. 今年度の新規相談受付状況

受付件数 61件（前年同期 57件）



#### 4. 1・2・3月に応じた相談件数（新規相談＋継続相談）

対象	性別	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	計
幼児	男							0
	女							0
小学生	男		6	4				10
	女		3	3				6
中学生	男	2	8	2				12
	女		18	1		1		20
高校生	男		1					1
	女							0
少年	男					2		2
	女							0
一般成人	男					2		2
	女							0
計	男	2	15	6	0	4	0	27
	女	0	21	4	0	1	0	26
男女合計		2	36	10	0	5	0	53

#### 5. 1・2・3月の相談回数（53件の相談に要した延べ回数）

月	性別	面接	訪問	その他	合計
1・2・3月	男	123	10	16	149
	女	154	18	11	183
	計	277	28	27	332

#### 相談指導学級 学級担当

平成26年度は、14名（内2名は途中学校復帰）の小中学生が通級しました。自ら課題を持ち込んでの自主的学習、読書、手芸、絵画制作やパズルなど多彩な創作活動、ゲームなどを通じたコミュニケーション力をつけるための活動、週1回実施のスポーツ活動等々、個人差はあるものの積極的に取り組みました。また、月2回程度設定した体験活動はばたきにも意欲的に参加し、日常の活動とは異なった実際の体験を通して集団の一員としての自覚を持つようになり、確かな成長を感じました。その他、学校へ行って定期テストを受けられた中学生がいたこと、自分の判断で始業式や終業式・修了式に参加できた生徒がいたこと、学校の相談室まで行けた生徒がいたこと等々成長が見られました。そして、中学3年生6名全員及び4月初めに学校復帰した2名の進学先が決定し、それを見た下級生が「自分も目標をしっかりとって頑張りたい」と意欲が出てきたことは、小集団の良い機能が作用したように思います。学級での様々な経験が、自信やエネルギーとなって、様々な学びに目を向けられるようになったことは、本事業にとって意義ある1年間であったと実感しています。

本年度も保護者・学校の先生方と連携し、通級する児童・生徒の成長を願って支援にあたります。関係する皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

# 電話相談



◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談。

◎相談時間：午前10時～午後7時 月～金曜日（祝祭日を除く）

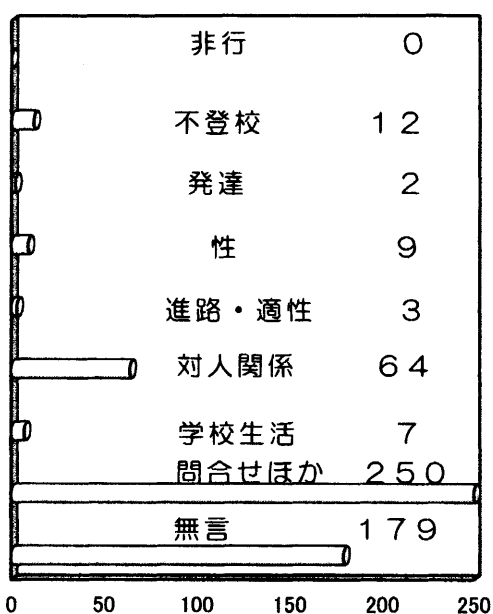
◎愛称：やまびこ電話 951-7330

## 平成27年1・2・3月の状況

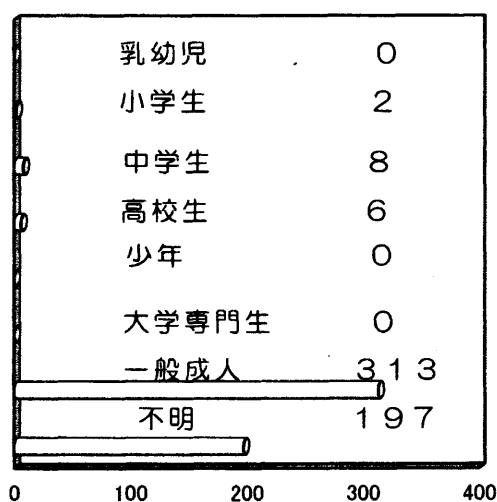
1月には153件、2月には151件、3月には222件の相談が寄せられました。（前年1月：159件、前年2月：160件、前年3月：197件）

### 1. 1・2・3月の相談状況

相談内容別件数



相談対象者別件数



### 2. 今年度の電話相談受信件数状況(平成26年度)

総件数 2,173件 (前年同期 2,257件)



#### (1) 相談内容別

内容	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せほか	無言
件数	0	21	16	51	15	294	37	973	766

#### (2) 相談対象者別

内容	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学専門生	一般成人	不明
件数	0	19	22	21	2	1	1,251	857



# 親心+補導員=安心

母親補導委員 高梨 久美子

中央街頭補導では、多くの中学生、高校生を目にします。声を掛けると笑顔で応答してくれる姿は、見ていてとても気持ちが良いものです。

私自身、小学生と中学生の子育て真っ最中。年頃の子供は難しいと、子供達と過ごす毎日の中で感じていますが、皆様はどうですか？幼少期とは違い、家で一緒に過ごす時間より、学校や習い事、友達と過ごしている時間が多く、また、未成年の携帯電話の普及により、子供達の様子が把握出来ないのが現状です。

補導に出掛けると、子供達には魅力的な場所が多く、立ち寄ってしまう気持ちは十分に理解出来ませんが、大人の目が行き届かない部分も多く存在しています。そのような場所において、目にした事、聞いた事が事件や事故に繋がっていく可能性が多い事は否めません。

様々な出来事が起こりうる毎日の中で、補導員の方々や学校の先生方、地域の皆様にお力添えを頂いて、子供達が大きな事件や事故に巻き込まれる事なく、元気に過ごせている事に、感謝の思いは尽きません。

私も微力ではありますが、補導員という立場に携わらせて頂いている今、皆様と協力して、子供達が安心して過ごせる、元気な笑顔溢れる毎日のお手伝いが少しでも出来ているのならば幸いです。



## 1 少年補導委員の延べ参加人数（1月～3月）

区別	市職員	教員	地区 補導委員	女性 補導委員	母親 補導委員	警察関係	総数
1月	7	13	272	11	4	0	307
2月	8	7	281	15	2	0	313
3月	7	7	273	9	5	0	301

## 2 補導回数・補導状況（1月～3月）

	補導回数				声かけ 注意・指導	事後指導	
	午前	午後	夜間	計		学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
1月	4	9	30	43	45	0	0
2月	7	8	33	48	72	0	0
3月	2	5	33	40	47	0	0

## 3 平成26年度 4月からの補導活動累計

補導回数	延べ 参加補導委員数	声かけ 注意・指導	事後指導	
			学校・親等へ連絡	他機関へ連絡
505	3,955	851	0	0

# 1月・2月・3月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

平成26年度の補導活動へのご協力ありがとうございました。昨年度の補導中の指導をみると、夏休み、冬休みの時期に、B i v iでの指導が集中する傾向がありました。今年度もその状況が継続する可能性があります。引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

区分	学 職 別		小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計	四月からの 累計
	性別									
飲	酒	男							0	
		女							0	
喫	煙	男							0	3
		女							0	4
夜間はいかい		男		1					1	20
		女		1					1	30
不良交友		男							0	
		女							0	
怠学・怠業		男							0	
		女							0	
ゲームセンター入場		男	24	9	19	10			62	249
		女	13	7	11				31	104
パチンコ店入場		男							0	
		女							0	
カラオケ店入場		男							0	0
		女							0	0
自転車の暴走行為		男			1				1	7
		女							0	4
自転車の二人乗り		男							0	10
		女							0	7
自転車の無灯火		男		1	2				3	27
		女			2				2	8
危険な遊び		男							0	0
		女							0	0
その他		男	10	11	15				36	228
		女	5	2	20				27	150
計		男	34	22	37	10	0	0	103	544
		女	18	10	33	0	0	0	61	307
男女合計			52	32	70	10	0	0	164	851

事後指導	家庭・学校・職場へ連絡	男							0	
		女							0	
他機関へ連絡		男							0	
		女							0	
合計			0	0	0	0	0	0	0	0

## 人間味を失っていませんか？ Part II

＝「次（将来）に生きる体験」こそ、大切＝

現代社会は、「手軽さ」と「安全性」を追い求め、実体験する機会を減少させました。ディズニーランドに代表されるテーマパークももちろんです。実際には体験することのできない世界にいざなってくれます。子どもたちは、スリル満点のアトラクションに歓喜し、親たちは、安全を第一とする数々のアトラクションに「わが子の存在」も忘れて、酔いしれます。

しかし、所詮は「疑似体験」に過ぎません。十分楽しめても、それだけで終わってしまいます。次に生きてくる「体験」ではありません。かつては、大自然を相手に、親子が触れ合って楽しみました。公園や海辺で「わが子」と戯れることが子どもにとっても、親にとっても、「家族が触れ合う最高の場」でした。そして、次に活かせる「体験の場」でもありました。

父親も、母親も、周囲に気を遣い、安全を意識しながら、わが子を楽しませました。子どもたちは、親の庇護の下で、楽しい時間を過ごすことで、親の視線の温かさを感じ取り、「ありがたみ」をはぐくみ、相手を思いやる「こころ」を学びました。公園では石ころに躓き、川辺では川苔に足を取られ、海辺では潮水を飲み込み、自らも用心することを身に付けました。希薄になったといわれる親子関係は、こうした家族休暇の過ごし方にも一因があるように思います。

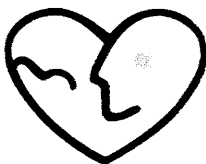
交通安全に関しても同様に感じます。横断歩道で安全を見守る「旗振り」の皆さんの多くは、子どもたちが近づくと、車を止めて子どもを安全に渡らせます。子どもたちは無意識に「車は止まってくれるもの」と認識します。子どもの交通事故原因の多くは「飛び出し」によるものです。「横断歩道では、まずは立ち止まり、安全を確認すること」を教えることが大切ではないでしょうか。

### センターの活動予定 (5月・6月・7月の主な活動予定)

日 程	活動（行事）予定	日 程	体験活動予定
5月22日（金）	第1回補導委員会代表者会	5月21日（木）	苗取り・畑づくり
28日（木）	新任補導委員研修 [~29]	5月28日（木）	苗植え付け
6月26日（金）	補導委員会感謝状贈呈式	6月 4日（木）	浮島沼自然観察
7月 6日（月）	青少年の非行・被害防止街頭 キャンペーン	11日（木）	畑の除草
10日（金）	県内一斉夏季補導	18日（木）	高校見学
17日（金）	第2回補導委員会代表者会	25日（木）	畑の除草
25日（土）	夏まつり特別補導 [~26]	7月 2日（木）	畑の除草・自然観察
		16日（木）	畑の除草・軽スポーツ

### 明るい子どもが育つまち

青少年健全育成シンボルマーク



青少年健全育成都市宣言（昭和55年）

あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪

青少年を、優しく温かい心で包み込むという思いから、右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート（心）を表しています。